

平成22年11月4日  
原子力安全対策室

## 志賀原子力発電所2号機の制御棒の動作確認について

本日、北陸電力から、明日、志賀2号機の制御棒の一部について動作確認を行う旨の連絡があった。

本件は、東京電力の柏崎刈羽原子力発電所（新潟県）で、使用済みの制御棒（ハフニウムフラットチューブ型）でひびが確認されたことから、同じ型の制御棒を使用している沸騰水型原子力発電所の事業者に制御棒の動作確認を行うよう国から指示があったものの。

志賀2号機の制御棒205本のうち、同じ型の制御棒は25本であり、確認作業には3時間程度かかる見込み。

北陸電力では、今後、月に一度の頻度で確認を行うとしている。

制御棒の動作確認（挿入・引抜）に伴い、出力が変動することがあるため、県へ連絡区分Ⅱの（1）として連絡があったもの。

→連絡区分Ⅱの（1）・・・速やかに連絡が必要なもの  
発電機出力若しくは原子炉出力が変動したとき又は出力変化が必要となったとき。（他の発電所で発生した故障等に関連する点検に起因するものも該当する。）

原子力安全対策室では、明日の制御棒の動作確認に立ち会う予定としている。

なお、志賀1号機では、過去に同じ型の制御棒を4本使用していたが、現在は使用していない。

原子力安全対策室 (直通) 076(225)1465 (県庁内線) 4234
--